

## 北京2022パラリンピック競技大会 修理サービスへの準備が本格化

**2022年、北京パラリンピックにおいて、オットーボックは「修理サービスセンター」を各選手村3カ所に開設します。**

北京 2022 パラリンピックが 3 月 4 日に開幕します。オットーボックは東京 2020 パラリンピックに引き続き北京でも、参加する 700 人の選手や大会関係者に対して修理サービスを提供します。今大会では、北京、延慶、張家口に設置される各選手村にメインの修理サービスセンターを 3 カ所設置する予定です。

パラリンピックの選手たちは、大会前や大会中にこのセンターで機器のメンテナンスと修理サービスが無償で受けることができます。スノーボード、バイアスロン、アイスホッケーなど、競技に使用される機器には大きな負担がかかるため、この修理サービスは欠かせません。

オットーボック修理サービスセンターで働く 40 名の技術者は、車いす、義肢、装具など、競技用のみならず日常用の機器の修理サービスも行ない、選手が自分のパフォーマンスに集中できるよう、サポートします。



Quality for life

### ロジスティクスとコロナ感染症対策の大きな課題に挑戦

オットーボック社は 1988 年以來、パラリンピックのテクニカルサービスパートナーを長きにわたり務めてきました。しかし、北京 2022 大会は、昨年 9 月に終了した東京 2020 大会から半年も経たない内に開催されるため準備期間が非常に短く、荷物の搬入では困難を極めました。また、北京、延慶、張家口の 3 つのメイン会場の各選手村に、設備の整った修理サービスセンターを 3 つ用意する必要があり、これは、今までに経験のないことです。

さらに、定められた範囲内でのみの移動を可能とする厳しいバブル方式に従ってセンターの運営を行うことはまさに挑戦です。

しかし、本大会には移動制限のあった東京 2020 で修理サービスを経験したスタッフも複数参加します。東京での経験を活かし、制約の中でも安定したサービス提供ができるよう全力を尽くします。

## 北京2022大会修理サービス概要

- 北京、延慶、張家口の各選手村に修理サービスセンター3カ所を設立
- アイスホッケー(北京)、アルペンスキー(延慶)、バイアスロン、クロスカンリースキー、スノーボード(張家口)の5会場に修理ブースを設置し、緊急修理を提供
- 義肢装具士、車いす技術者、溶接技術者などの技術者40名を含む、世界12カ国から集まった50名でチームを結成
- 全選手と運営関係者を対象に、競技用機器および日常用機器のメンテナンスと修理を実施
- 機器のブランドやメーカーを問わず、無償でサービスを提供
- 期間中500件の修理サービスを想定
- サービス提供時間:午前8時～午後9時、24時間緊急ホットラインあり
- 22日間のサービス提供

## オットーボックとは

- オットーボックは義肢、装具、車いすのリーディングサプライヤーとして、疾病や怪我などにより動きを制限された人々がモビリティを取り戻したり、維持したりできるよう、最新技術とリハビリテーションを組み合わせたモビリティソリューションを提供しています。1919年にドイツで創業し、現在、グローバルネットワークを通して全世界に、製品、技術、サービスを供給しています。オットーボックのスポーツラインナップには走行用板バネ、スポーツ用膝継手、ラグビーやバスケットボール用車いすなどがあり、障害のある人々が陸上競技や球技を楽しむことを可能にしています。
- 1988年ソウル大会以降30年以上の長きにわたり、パラリンピック競技大会にて修理サービスを提供し続けており、2005年からはパラリンピックのワールドワイドパートナーとして、パラリンピックムーブメントを支援しています。
- 2012年から、パラリンピックの金メダリスト、ハインリッヒポポフの指導のもと、世界各国で下肢切断者を対象としたランニングクリニックを開催しており、パラリンピックに出場する選手も輩出しています。

オットーボックのパラリンピックへの取り組みについては、下記サイトも参照ください。

<https://www.ottobock.co.jp/parasports/paralympics/> (日本サイト)

<https://www.ottobock.com/en/sustainability/paralympics/> (英文サイト)



(日本サイト)



(英文サイト)

## 修理サービスセンターのバーチャルツアーについて

2022年3月初旬、メディア関係者を対象に、修理サービスセンターのバーチャルツアーを予定しています。現地にいる修理サービスチームの代表、Peter Franzel(ピーター・フランツェル)とプレス担当者が、北京、延慶、張家口の3カ所のセンターの修理作業の様子をガイドしながら紹介します。

招待をご希望の方は、[press@ottobock.com](mailto:press@ottobock.com) までメールでお申込みください。英語での連絡をお願いいたします。



冬季スポーツ用義足「プロカーブ」を調整する義肢装具技術者  
(平昌 2018 パラリンピック) © Getty Images for Ottobock



修理サービスセンターには、義肢装具士、車いす技術者に加え、  
溶接技術者も在籍 © Getty Images for Ottobock

上記を含む関連写真をご希望の方は、以下のサイトよりダウンロードいただけます。

<https://www.ottobock.com/en/company/newsroom/news/preparations-for-the-paralympic-technical-repair-service-centers-in-full-swing.html>



## 取材について

コロナ感染症対策のため、選手村内にあるオットーボック修理サービスセンターに直接来場いただくことはできません。

オンラインにより修理サービスセンターの活動紹介、参加している技術者へのインタビューなど、ご要望に応じてセッティングいたします。下記までご連絡ください。

### 【お問合せ先】

オットーボック・ジャパン(株) マーケティング 03-3798-2113

担当: 吉田 茜(ヨシダアカネ) 080-3351-4962

樋詰 絵梨子(ヒヅメエリコ) 080-3010-3979

E-Mail: [ottobock\\_com@ottobock.co.jp](mailto:ottobock_com@ottobock.co.jp)